

# まことにゆかいななかまだ

横須賀市立ろう学校 中高等部通信 第4号

平成28年(2016年)5月25日

## 花と羊と富士山と

5月12日に延期になった春の遠足。前日は強風でフェリーが欠航になりましたが、当日は好天に恵まれ、楽しいひとときを過ごすことができました。



行きのフェリーのデッキからは富士山がよく見えました。しりとりがとても楽しかったですね。マザー牧場は幼稚園児、中学生、日本語学校生など、大勢の人でにぎわっていましたが、とても広がったので、ゆったりできました。マザー牧場には菜の花が約350万本あるそうです。確保していただいたテーブルで昼食を食べ、約150頭の羊が群れをなして移動する『ひつじの大神行進』、『シープショー』を見て、動物とふれあいました。佐貫駅にはツバメの巣がありました。ふれあいの多い一日でした。



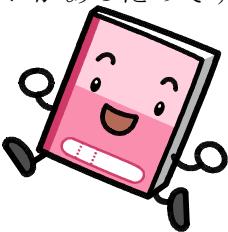
## 出会いを大切に

5月13日のPTA講演会での小松先生のお話をお聞きして、出会いの大切さを感じました。



ヘレン・ケラーはアン・サリバン先生に出会っていなかったら、社会に貢献することも、本校を訪れることもなかったでしょう(サリバン先生は1866年4月14日生まれなので、今年は生誕150年)。海ちゃんも一托青年に出会わなければ——おっと、こちらはテレビドラマの話です。

3月に高等部を卒業して就職した卒業生が、5月6日に来校しました。職場の先輩にかわいがられている、という風の便りを聞いてはいましたが、本人の笑顔を見て安心しました。良い出会いがあったのですね。



5月9日から13日まで読書週間でした(毎月1回あります)。本との出会いも大切です。

いろいろな出会いを大切にして、生活していきましょう。「あなたに会えて良かった」と言われる人になれば素敵ですね。